

人吉球磨地方“発”の希少な焼酎がアジア最大級の酒類コンクールで高評価  
**球磨焼酎『鴨の舞 燦』HK IWSC で金賞獲得**  
 ～県産品の魅力、生産者の想いを国内外に広く発信し、地域活性の一助に～

熊本、九州各地の交通・観光拠点、及び大型商業施設にて飲食・売店事業を展開する九州産交リテール株式会社（所在地：熊本市中央区花畑町／代表取締役社長：松原 靖／以下、九州産交リテール）の子会社、肥後リカー株式会社で販売する球磨焼酎『鴨の舞 燦（かものまい・さん）』が、世界三大酒類コンクールの一つとされる「HK IWSC（ホンコン インターナショナル・ワイン・アンド スピリッツ・コンペティション）」の米焼酎・麴部門において、金賞を獲得いたしました。

熊本県内でも有数の米の産地である人吉・球磨地方の焼酎、『鴨の舞』のシリーズは2003年に誕生。当地におけるアイガモ農法で作られる上質な米を原料に採用、長期間に渡り樽貯蔵するため、琥珀色の輝き、コク深い味わい、甘く芳醇な香りを無二の特徴としています。過去には3年連続でモンドセレクションの最高金賞を受賞、海外からも評価の高い県産酒として知られ、とくに贈答用として親しまれる球磨焼酎です。

本格焼酎『鴨の舞 燦(さん)』は2019年5月に商品化に成功。蔵出しする古酒に独自技術を加え、アルコールを43度まで高めて仕上げる、同シリーズその年の“最高傑作”とする数量限定の希少品です。本日時点、商品の取り扱いは、九州産交リテール直営の地産土産売店（＝「旬彩館（しゅんさいかん）」各店舗）など、県内の限られた店舗のみとなります。

HK IWSCは年1回、香港で開催、出展者数や来訪者数などはアジア最大級の規模とされ、今年で開催13回目。品評対象の全46部門のうち、焼酎は10のカテゴリー、『鴨の舞 燦』は「並外れたバランスと希少で複雑なフレーバーを備える優れた酒」との評価を得る総合スコアで、米焼酎・麴部門の金賞を獲得しました。



▲HK IWSC 受賞証明書



九州産交リテール、および肥後リカーでは、球磨焼酎をはじめ県産品の魅力や生産者の想いを広く発信していくことで、地域の活性化、及びお客様の安心・安全な暮らしの一助となることを目指してまいります。

▶ 鴨の舞 燦 43°  
9,800円+税、720ml



燦  
米

【燦(さん)】の名称は、この漢字の持つ意味である「輝いて鮮やかな」という願いを含め、数ある球磨焼酎の中でも突出した存在でありたいという想いと、漢字を構成する部分、「火（火の国）」と「米（米焼酎）」の部分において、熊本・人吉のブランドイメージを表現しています。

## ■蔵元（那須酒造）について

1915年創業。もろぶたによる麴造り、100年以上昔から伝わる甕（かめ）による仕込みなど、手造りの技法を守り続ける。現代では希少な製法により大量生産はできないため、生み出される商品は限定生産。蔵人は家族のみ。現在、杜氏は四代目の那須雄介が務める。熊本国税局酒類鑑評会において12年連続優等賞を受賞。“赤レツテル”の名で親しまれる、昔ながらの焼酎「常圧球磨の泉」を基本に、さわやかなタイプの「減圧 球磨の泉」も当蔵元の商品。九州産交リテールとは『鴨の舞』シリーズの蔵元として関係性を深める。

7月の豪雨では蔵元自体への被害は軽微であったものの、今年仕込む分の原料となるアイガモ米の収穫量がまだ見えず、その確保に奔走している。



## <当件に関するお問い合わせ>

九州産交リテール株式会社 広報室：椎葉、江藤  
TEL：096-300-5554（代表）



九州産交リテール株式会社は、“社員がいきいきと働き、安心して働き続けられる企業”として、熊本県推奨の「ブライ企業」に認定されております。



九州産交グループ  
ポータルサイト  
【お食事・お土産】タグから九州産交リテール運営店舗の情報をご覧いただけます。